

---

# 情熱になれない「男」の歴史

IQ9

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

情熱になれない「男」の歴史

### 【Nコード】

N1065R

### 【作者名】

IQ9

### 【あらすじ】

今元気ですか？ 今幸せですか？ 翼くれませんか？

あんまりだあんまりだあんまりだ……

誰にも会いたくないし遊びたくない、朝起きると気分が悪い寝付けが悪い明日が辛くて今生きてることが辛い

将来が不安なのに、どんどん歳をとる。時を止めたいよマジで……

人が何を考えてるかわからない、何を考えていきてるの？

いつから自分を偽って生きていかなきゃいけないの？

この状況から抜け出せない、何も見えない、今が辛い。

自動販売機の前に立つ一人の男、何を買うか悩んでいるわけではなく今の状況に悩んでいた。最近ついていけない何も生かさないに近い、プライベートに友達と遊ぶこともない、引きこもりになる手前だと思った。

「ちょっと早く買って」

呆然と立ち尽くしてた俺に後ろから声が聞こえて我に返った、あっと思えば後ろを振り返る

「何？ 早くしてくんない」

「あの………すみません」

急いでポケットから小銭を出したが10円足りない、後ろから聞こえてくるイライラしてるため息。状況で何も買わないのも変、しかし10円足りない、笑えない泣けない運がない。

「早く！」

「ちょっと待ってください」

どうしたらいいのかわからず小銭をすべて自動販売機に入れた、絶望の時間だったここで誰か助けに来ることはほぼ無い。俺自身知り合いがいたとしても絶対助けない。

「お金足りてないじゃん」

恥と人見知りから小さくうなづく

「はい10円」

真新しい10円玉はピカピカして綺麗だった、人からやさしくされるなんていつ以来だろうか。この状況で助けてくれるなんてどれだけいい人なんだ。

「ありがとうございます」

炭酸を買って軽く会釈してその場を去った、途端に背後から声をかけられた。見たまんま警察であった。

「ちょっといいですか？」

世間一般で言う職務質問、なんなく終わろうとした時またも背後から声がした。さっきの女の人だった。  
何事だ？ と思いついてきた、人にジロジロ見られるのは大嫌いで何だか変に緊張してしまう、何もしてないので別にいいかと心の中で思った。

「この人さっき私からお金取りました！」

ん？ さっきの10円？ くれたんじゃないの？ 混乱混乱、くあ  
wse dr ft gyぶじこ1p:;@:」

なんぞやなんぞや、わ、わけわからんこの女！ 別にたいした事じゃないのに大事にすんなよ、クラスに絶対こーいう事するやついる。

「ちょっと来なさい」

俺の話聞いてよ1分だけでいいから、弁解させて警察コラ警察ー

つづく…かも。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1065r/>

---

情熱になれない「男」の歴史

2011年10月8日04時41分発行